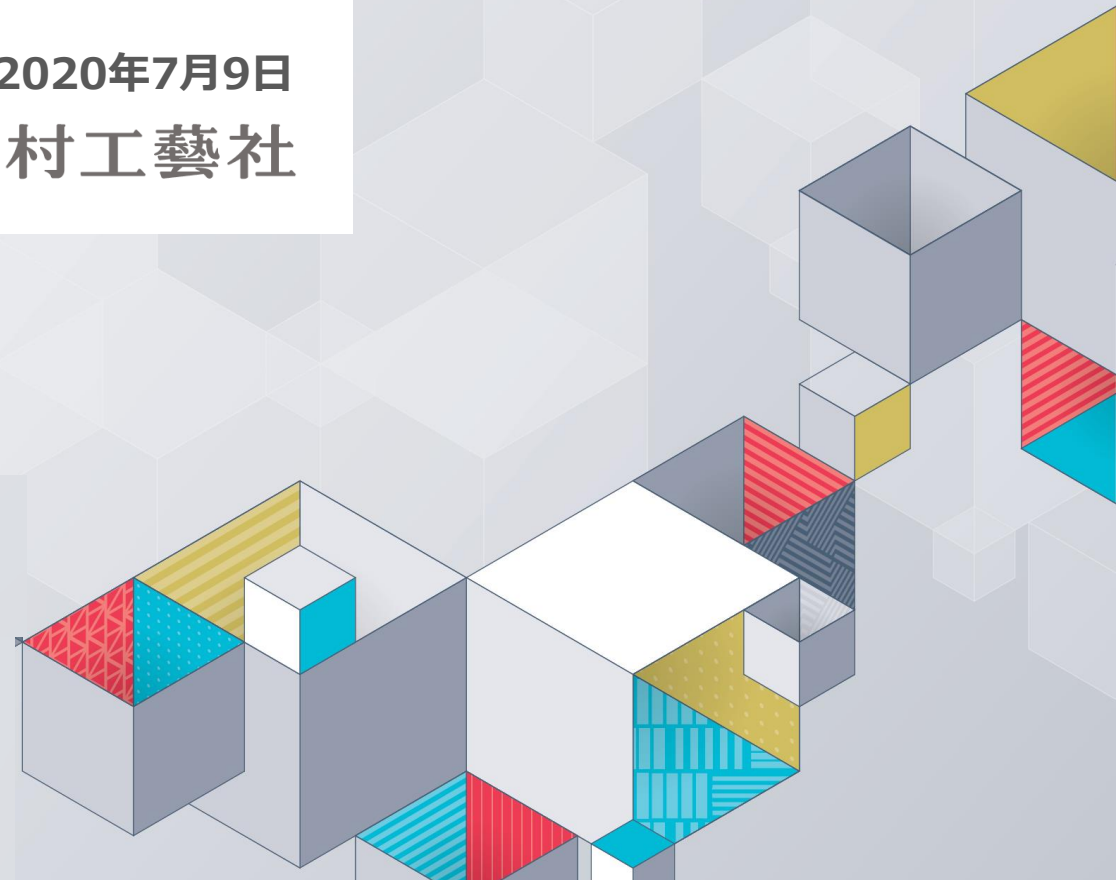


2020年度  
第1四半期決算説明資料

2020年7月9日

株式会社 乃村工藝社



- 1. 2020年度 第1四半期決算概要**
- 2. 2020年度 第1四半期決算補足資料**
- 3. 当社グループの概要**

# 1. 2020年度 第1四半期決算概要

## 2020年度第1四半期 連結業績ハイライト

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、複数の大型案件の完工が第2四半期へ繰り越しとなったことなどにより減収。
- 売上総利益率は高い水準を確保したが、売上高の減少にともない減益。

(百万円)	2019年度		2020年度		前年同期比
	1 Q	対売上高 構成比	1 Q	対売上高 構成比	
売上高	31,489	100.0%	<b>25,997</b>	<b>100.0%</b>	△5,492 (△17.4%)
売上総利益	6,539	20.8%	<b>5,442</b>	<b>20.9%</b>	△1,096 (△16.8%)
営業利益	2,588	8.2%	<b>1,392</b>	<b>5.4%</b>	△1,195 (△46.2%)
経常利益	2,657	8.4%	<b>1,439</b>	<b>5.5%</b>	△1,217 (△45.8%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,709	5.4%	<b>766</b>	<b>3.0%</b>	△942 (△55.1%)

# 売上高・売上総利益

## ①売上高

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期比
売上高	31,489百万円	<b>25,997百万円</b>	△5,492百万円 (△17.4%)

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、複数の大型案件の完工が第2四半期へ繰り越した事に加え、各種催事や展示会・イベントの延期・中止、飲食・物販事業において店舗の臨時休業や営業時間短縮の対応をおこなったことにより減収。

## ②売上総利益

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期比
売上総利益	6,539百万円	<b>5,442百万円</b>	△1,096百万円 (△16.8%)
(売上総利益率)	20.8%	<b>20.9%</b>	+0.1ポイント

- 売上総利益率は、大型テーマパーク案件が減少したことなどにより余暇施設市場の利益率が低下した一方、採算性の高い大型案件が完工した複合商業施設市場、博物館・美術館市場の利益率が改善したことなどにより、前年同期に比べ0.1ポイント良化したが、売上高の大幅な減少にともない売上総利益は16.8%減少。

# 営業利益

## ① 販売管理費

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期比
人件費	2,440百万円	<b>2,486百万円</b>	+46百万円 (+1.9%)
経費	1,509百万円	<b>1,562百万円</b>	+52百万円 (+3.5%)
販売管理費	3,950百万円	<b>4,049百万円</b>	+99百万円 (+2.5%)
(販売管理費比率)	12.6%	<b>15.5%</b>	+2.9ポイント

- 販売管理費は、人員増にともなう人件費増、ならびにリモートワークの増加にともなう通信費や、システム関連費などの経費増により2.5%増加、売上高販売管理費比率は減収の影響もあり、2.9ポイント上昇し15.5%となった。

## ② 営業利益

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期比
営業利益	2,588百万円	<b>1,392百万円</b>	△1,195百万円 (△46.2%)

- 営業利益は、売上総利益が1,096百万円減少、販売管理費が99百万円増加したことにより減益。

# 経常利益

## ① 営業外損益

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期比
営業外収益	68百万円	<b>54百万円</b>	△14百万円
営業外費用	0百万円	<b>7百万円</b>	+6百万円

- 営業外収益は、受取配当金の減少などにより減少。
- 営業外費用は、為替差損の計上により増加。

## ② 経常利益

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期比
経常利益	2,657百万円	<b>1,439百万円</b>	△1,217百万円 (△45.8%)

- 営業利益の減少にともない減益。

## 四半期純利益

### ① 特別損益

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期比
特別利益	—	—	—
特別損失	5百万円	54百万円	+49百万円

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響にともない、飲食・物販事業における店舗の臨時休業期間中の固定費を特別損失に計上。

### ② 法人税等・四半期純利益

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期比
法人税等	935百万円	614百万円	△320百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,709百万円	766百万円	△942百万円 (△55.1%)

- 法人税等は、利益減にともない減少。
- 四半期純利益は、経常利益の減少にともない減益。



## 市場分野別の売上高

- 化粧品ブランド店舗の大型案件などを手掛けた専門店市場が増収、美術館の大型案件を手掛けた博物館・美術館市場が増収。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、PR施設、ホテル、オフィスなどの大型案件の完工が第2四半期へ繰り越しとなったことなどにより広報・販売促進市場、余暇施設市場、その他市場が大幅な減収。

	2019年度1Q 売上高		売上 総利益率	2020年度1Q 売上高		売上 総利益率
	金額(百万円)	前年同期比		金額(百万円)	前年同期比	
専門店市場	7,029	+16.6%	18.8%	<b>7,676</b>	<b>+9.2%</b>	<b>↑19.6%</b>
百貨店・量販店市場	1,429	△7.1%	27.7%	<b>911</b>	<b>△36.2%</b>	<b>↓23.0%</b>
複合商業施設市場	3,361	+42.6%	25.0%	<b>3,263</b>	△2.9%	<b>↑29.3%</b>
広報・販売促進市場	5,037	+24.2%	21.3%	<b>2,671</b>	<b>△47.0%</b>	<b>↑21.5%</b>
博物館・美術館市場	2,457	+14.2%	18.6%	<b>3,322</b>	<b>+35.2%</b>	<b>↑23.0%</b>
余暇施設市場	5,065	+115.4%	20.4%	<b>4,234</b>	△16.4%	<b>↓16.2%</b>
博覧会・イベント市場	325	+80.3%	17.2%	<b>147</b>	△54.6%	<b>↑24.4%</b>
その他市場	6,147	+108.0%	20.1%	<b>3,673</b>	△40.2%	<b>↓19.1%</b>
ディスプレイ事業 小計	30,853	+42.7%	20.8%	<b>25,900</b>	△16.1%	<b>↑21.0%</b>
飲食・物販事業	636	+26.0%	19.9%	<b>96</b>	△84.8%	<b>↓8.1%</b>
合 計	31,489	+42.3%	20.8%	<b>25,997</b>	△17.4%	<b>↑20.9%</b>

## 市場分野別の受注高・受注残高

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響にともない受注活動が停滞したことなどにより、大型案件が減少、専門店市場、広報・販売促進市場、その他市場の受注高が減少。博覧会・イベント市場の減少は、前年同期に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会案件、ならびに公共の大型イベントの受注があったため。
- 受注残高は、多くの大型案件の完工が第2四半期へ繰り越しとなったが、受注減にともない減少。

	2019年度 1Q		2020年度 1Q		受注高 前年同期比	受注残高 前年同期比
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)		
専門店市場	9,163	10,125	<b>4,401</b>	<b>7,035</b>	△52.0%	△30.5%
百貨店・量販店市場	1,508	1,617	<b>324</b>	<b>960</b>	△78.5%	△40.6%
複合商業施設市場	3,261	8,563	<b>2,347</b>	<b>5,969</b>	△28.0%	△30.3%
広報・販売促進市場	4,689	4,786	<b>1,845</b>	<b>9,984</b>	△60.6%	+108.6%
博物館・美術館市場	5,171	9,272	<b>3,629</b>	<b>8,368</b>	△29.8%	△9.8%
余暇施設市場	2,311	7,231	<b>1,013</b>	<b>7,405</b>	△56.1%	+2.4%
博覧会・イベント市場	8,425	9,680	<b>1,750</b>	<b>10,741</b>	△79.2%	+11.0%
その他市場	8,449	21,704	<b>6,574</b>	<b>16,482</b>	△22.2%	△24.1%
合 計	42,981	72,982	<b>21,887</b>	<b>66,947</b>	△49.1%	△8.3%

(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません

## 2020年度 連結業績予想

- 2020年度の業績見通しについては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明ななか、引き続き、関連業界の動向、お客様の状況、各プロジェクトについて情報を収集・精査している状況にあるため、未定とさせていただきます。なお、合理的な算定が可能となった時点ですみやかに開示いたします。

(百万円)	2019年度				2020年度(予想)			
	2Q	対売上高 構成比	通期	対売上高 構成比	2Q	対売上高 構成比	通期	対売上高 構成比
売上高	70,724	100.0%	143,689	100.0%	-	-	-	-
売上総利益	14,911	21.1%	28,981	20.2%	-	-	-	-
販売管理費	8,319	11.8%	17,894	12.5%	-	-	-	-
営業利益	6,592	9.3%	11,086	7.7%	-	-	-	-
経常利益	6,693	9.5%	11,242	7.8%	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,517	6.4%	7,795	5.4%	-	-	-	-
1株当たり当期純利益	40.60円	-	70.06円	-	-	-	-	-
1株当たり配当金	-	-	32.00円(記念配当2円を含む)	-	-	-	-	-
ROE (自己資本当期純利益率)	-	-	17.1%	-	-	-	-	-

# 新型コロナウイルス感染症による事業活動への影響

## 【受注活動】

- ・先行き不透明感、経済環境の悪化による、出店・改装計画の見直し。
- ・各種催事、展示会・イベントの延期・中止。

## 【プロジェクト進行】

- ・工事中断や工期変更。
- ・主に海外からの資材調達の遅れ。

## 【店舗運営】

- ・臨時休業、営業時間短縮。

- コスト管理の徹底、固定費の抑制により、利益の確保をはかる。
- 市場の変化・動向を見極め、的確な提案活動・対応を実施。
- ウィズコロナ・アフターコロナの空間づくりに向けた提案活動を推進。

# 新型コロナウイルス感染症により想定される各市場における影響

市場分野	想定される影響
ディスプレイ事業	
専門店市場	・臨時休業や営業時間短縮の影響による出店・改装計画の見直し、店舗投資抑制。
百貨店・量販店市場	・各種催事の中止、改装の見直し・延期、設備投資抑制。
複合商業施設市場	・臨時休業や営業時間短縮の影響による改装計画の見直し・延期、開発投資抑制。
広報・販売促進市場	・企業の展示会・イベントの中止・延期・規模縮小、企業PR施設などへの投資抑制。
博物館・美術館市場	・文化施設の計画見直し・延期。
余暇施設市場	・訪日外国人客、ならびに国内旅行者の減少にともなう、ホテル・テーマパークの投資抑制。
博覧会・イベント市場	・公共イベントの中止・延期、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の計画見直し。
その他市場	・業績悪化によるオフィスへの投資抑制、リモートワーク拡大にともなうオフィス計画の見直し。
飲食・物販事業	・新型コロナウイルス感染症の拡大にともなう臨時休業・営業時間短縮、来客数の減少。

## 2. 2020年度 第1四半期決算補足資料

## 【前期末比較】連結貸借対照表

		2019年度末		2020年度1Q末				ポイント
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	前期末比		
資 産	流動資産	74,701	82.4%	<b>64,201</b>	<b>79.8%</b>	△10,500	△14.1%	大型工事の仕掛増によりたな卸資産が増加した一方、現預金、売掛金が減少したことにより105億円減少。
	固定資産	15,993	17.6%	<b>16,219</b>	<b>20.2%</b>	+225	+1.4%	システム投資にともなう無形固定資産の増加などにより2億25百万円増加。
	資産合計	90,694	100.0%	<b>80,420</b>	<b>100.0%</b>	△10,274	△11.3%	
負 債 純 資 産	流動負債	37,453	41.3%	<b>29,948</b>	<b>37.2%</b>	△7,504	△20.0%	大型工事の前受金が増加した一方、支払による支払手形の減少などにより75億4百万円減少。
	固定負債	5,449	6.0%	<b>5,465</b>	<b>6.8%</b>	+16	+0.3%	退職給付に係る負債の増加などにより16百万円増加。
	負債合計	42,902	47.3%	<b>35,414</b>	<b>44.0%</b>	△7,488	△17.5%	
	純資産	47,792	52.7%	<b>45,006</b>	<b>56.0%</b>	△2,785	△5.8%	配当金の支払いなどにより27億85百万円減少。
	負債純資産合計	90,694	100.0%	<b>80,420</b>	<b>100.0%</b>	△10,274	△11.3%	

## 【前年同期比較】連結損益計算書

第1四半期	2019年度		2020年度			ポイント	
	金額 (百万円)	対売上高 構成比	金額 (百万円)	対売上高 構成比	前年同期比		
売上高	31,489	100.0%	<b>25,997</b>	<b>100.0%</b>	△5,492	△17.4%	広報・販売促進市場、余暇施設市場、 その他市場の売上高が大きく減少し 減収。
売上総利益	6,539	20.8%	<b>5,442</b>	<b>20.9%</b>	△1,096	△16.8%	売上総利益率は0.1ポイント上昇した が、売上高の大幅な減少により減益。
販売管理費	3,950	12.6%	<b>4,049</b>	<b>15.5%</b>	+99	+2.5%	人員増などによる人件費増、リモート ワークの増加にともなう通信費、システ ム関連費などの経費増により増加。
営業利益	2,588	8.2%	<b>1,392</b>	<b>5.4%</b>	△1,195	△46.2%	売上高減による売上総利益の減少、 販管費の増加により減益。
経常利益	2,657	8.4%	<b>1,439</b>	<b>5.5%</b>	△1,217	△45.8%	営業利益の減少により減益。
特別利益	—	—	—	—	—	—	
特別損失	5	0.0%	<b>54</b>	<b>0.2%</b>	+49	+928.7%	新型コロナウイルス感染症拡大の影響 にともない、飲食・物販事業における店 舗の臨時休業期間中の固定費を特別 損失に計上。
親会社株主に帰属する 四半純利益	1,709	5.4%	<b>766</b>	<b>3.0%</b>	△942	△55.1%	経常利益の減少により減益。



## 【前年同期比較】市場分野別 売上高・売上総利益率

第1四半期	2019年度			2020年度			ポイント
	売上高		売上 総利益率	売上高		売上 総利益率	
	金額 (百万円)	前年 同期比		金額 (百万円)	前年 同期比		
専門店市場	7,029	+16.6%	18.8%	7,676	+9.2%	↑19.6%	化粧品ブランド店舗の大型案件などを手掛け増収。
百貨店・量販店市場	1,429	△7.1%	27.7%	911	△36.2%	↓23.0%	百貨店の各種催事案件が減少したことなどにより減収。
複合商業施設市場	3,361	+42.6%	25.0%	3,263	△2.9%	↑29.3%	大型案件の完工が第2四半期へ繰り越したなどにより減収。
広報・販売促進市場	5,037	+24.2%	21.3%	2,671	△47.0%	↑21.5%	電機、自動車メーカーなどの展示会が減少、ならびに大型PR施設案件の完工が第2四半期へ繰り越したなどにより減収。
博物館・美術館市場	2,457	+14.2%	18.6%	3,322	+35.2%	↑23.0%	美術館、自然・歴史博物館などを手掛け増収。
余暇施設市場	5,065	+115.4%	20.4%	4,234	△16.4%	↓16.2%	大型ホテル案件の完工が第2四半期へ繰り越したなどにより減収。
博覧会・イベント市場	325	+80.3%	17.2%	147	△54.6%	↑24.4%	大型イベント案件がなく減収。
その他市場	6,147	+108.0%	20.1%	3,673	△40.2%	↓19.1%	オフィスの大型案件が減少、ならびにオフィス大型案件の完工が第2四半期へ繰り越したなどにより減収。
ディスプレイ事業 小計	30,853	+42.7%	20.8%	25,900	△16.1%	↑21.0%	
飲食・物販事業	636	+26.0%	19.9%	96	△84.8%	↓8.1%	新型コロナウイルス感染症拡大にともなう運営店舗の臨時休業・営業時間短縮により減収。
合計	31,489	+42.3%	20.8%	25,997	△17.4%	↑20.9%	

## 【前年同期比較】市場分野別 売上高・受注高・受注残高

(百万円)

第1四半期	2019年度	2020年度	前年同期比	
■ 専門店市場				
売上高	7,029	<b>7,676</b>	+646	+9.2%
受注高	9,163	<b>4,401</b>	△4,761	△52.0%
受注残高	10,125	<b>7,035</b>	△3,090	△30.5%
■ 百貨店・量販店市場				
売上高	1,429	<b>911</b>	△517	△36.2%
受注高	1,508	<b>324</b>	△1,184	△78.5%
受注残高	1,617	<b>960</b>	△657	△40.6%
■ 複合商業施設市場				
売上高	3,361	<b>3,263</b>	△98	△2.9%
受注高	3,261	<b>2,347</b>	△913	△28.0%
受注残高	8,563	<b>5,969</b>	△2,593	△30.3%
■ 広報・販売促進市場				
売上高	5,037	<b>2,671</b>	△2,365	△47.0%
受注高	4,689	<b>1,845</b>	△2,843	△60.6%
受注残高	4,786	<b>9,984</b>	+5,198	+108.6%

(百万円)

第1四半期	2019年度	2020年度	前年同期比	
■ 博物館・美術館市場				
売上高	2,457	<b>3,322</b>	+865	+35.2%
受注高	5,171	<b>3,629</b>	△1,542	△29.8%
受注残高	9,272	<b>8,368</b>	△904	△9.8%
■ 余暇施設市場				
売上高	5,065	<b>4,234</b>	△831	△16.4%
受注高	2,311	<b>1,013</b>	△1,298	△56.1%
受注残高	7,231	<b>7,405</b>	+173	+2.4%
■ 博覧会・イベント市場				
売上高	325	<b>147</b>	△177	△54.6%
受注高	8,425	<b>1,750</b>	△6,675	△79.2%
受注残高	9,680	<b>10,741</b>	+1,060	+11.0%
■ その他市場				
売上高	6,147	<b>3,673</b>	△2,473	△40.2%
受注高	8,449	<b>6,574</b>	△1,874	△22.2%
受注残高	21,704	<b>16,482</b>	△5,222	△24.1%

## 【四半期推移】業績サマリー

(百万円)

	2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	31,489	39,235	33,164	39,801	<b>25,997</b>			
売上総利益	6,539	8,372	6,219	7,850	<b>5,442</b>			
売上総利益率	20.8%	21.3%	18.8%	19.7%	<b>20.9%</b>			
販売管理費	3,950	4,368	4,879	4,696	<b>4,049</b>			
販売管理費比率	12.6%	11.1%	14.7%	11.8%	<b>15.5%</b>			
営業利益	2,588	4,003	1,340	3,153	<b>1,392</b>			
営業利益率	8.2%	10.2%	4.0%	7.9%	<b>5.4%</b>			
経常利益	2,657	4,036	1,363	3,185	<b>1,439</b>			
経常利益率	8.4%	10.3%	4.1%	8.0%	<b>5.5%</b>			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,709	2,807	1,002	2,274	<b>766</b>			
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	5.4%	7.2%	3.0%	5.7%	<b>3.0%</b>			
受注高	42,981	35,752	42,538	29,988	<b>21,887</b>			
受注残高	72,982	70,165	80,169	70,960	<b>66,947</b>			

## 【四半期推移】 市場分野別 売上高

(百万円)

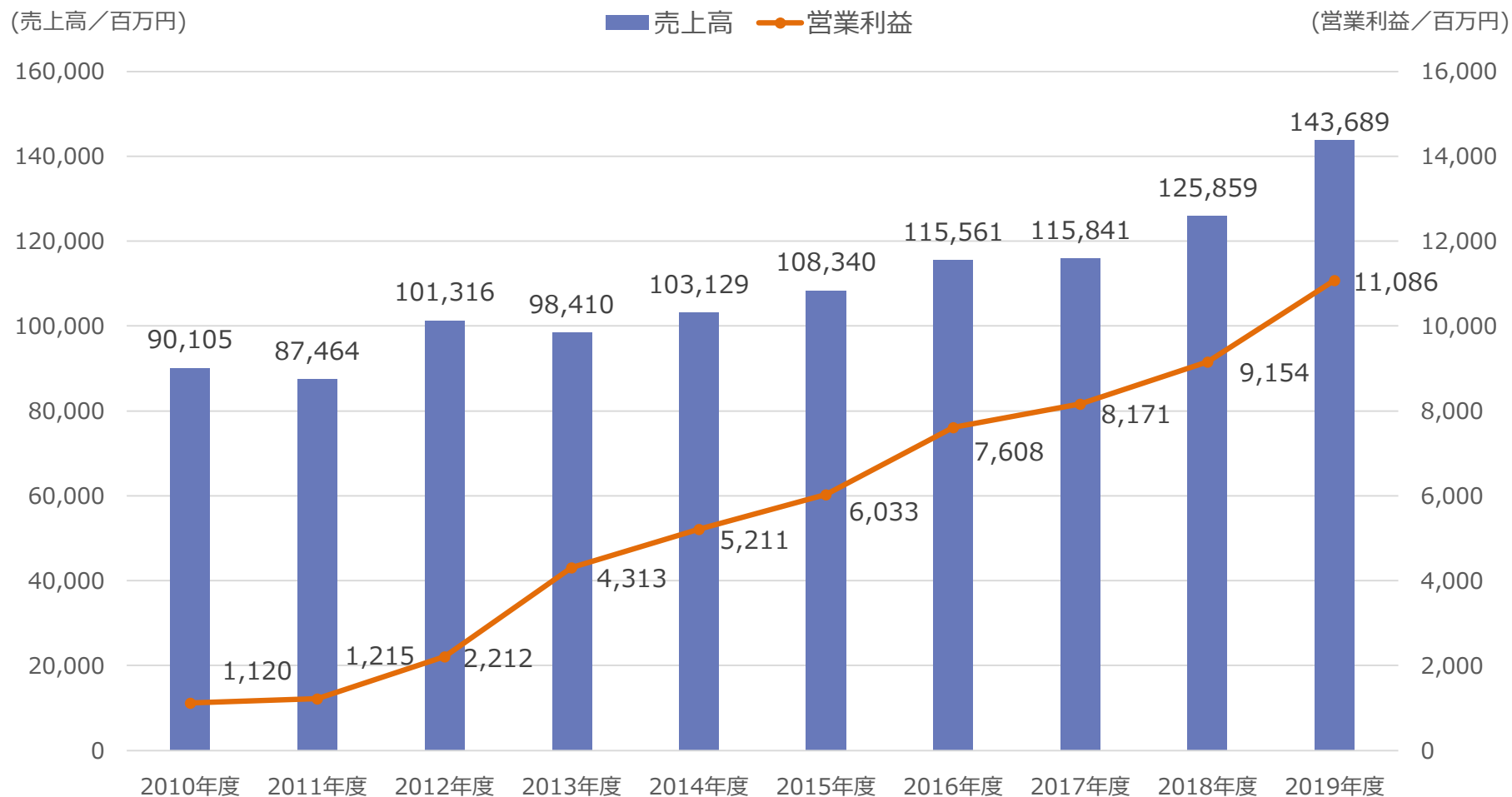
	2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
専門店市場	7,029	7,552	11,791	11,405	<b>7,676</b>			
百貨店・量販店市場	1,429	1,436	1,576	1,888	<b>911</b>			
複合商業施設市場	3,361	4,427	3,761	5,516	<b>3,263</b>			
広報・販売促進市場	5,037	3,611	4,258	5,373	<b>2,671</b>			
博物館・美術館市場	2,457	4,088	1,316	2,061	<b>3,322</b>			
余暇施設市場	5,065	2,997	1,621	5,231	<b>4,234</b>			
博覧会・イベント市場	325	1,917	166	357	<b>147</b>			
その他市場	6,147	12,537	8,042	7,364	<b>3,673</b>			
ディスプレイ事業 小計	30,853	38,569	32,534	39,197	<b>25,900</b>			
飲食・物販事業	636	665	629	603	<b>96</b>			
合 計	31,489	39,235	33,164	39,801	<b>25,997</b>			

## 【四半期推移】 市場分野別 受注高・受注残高

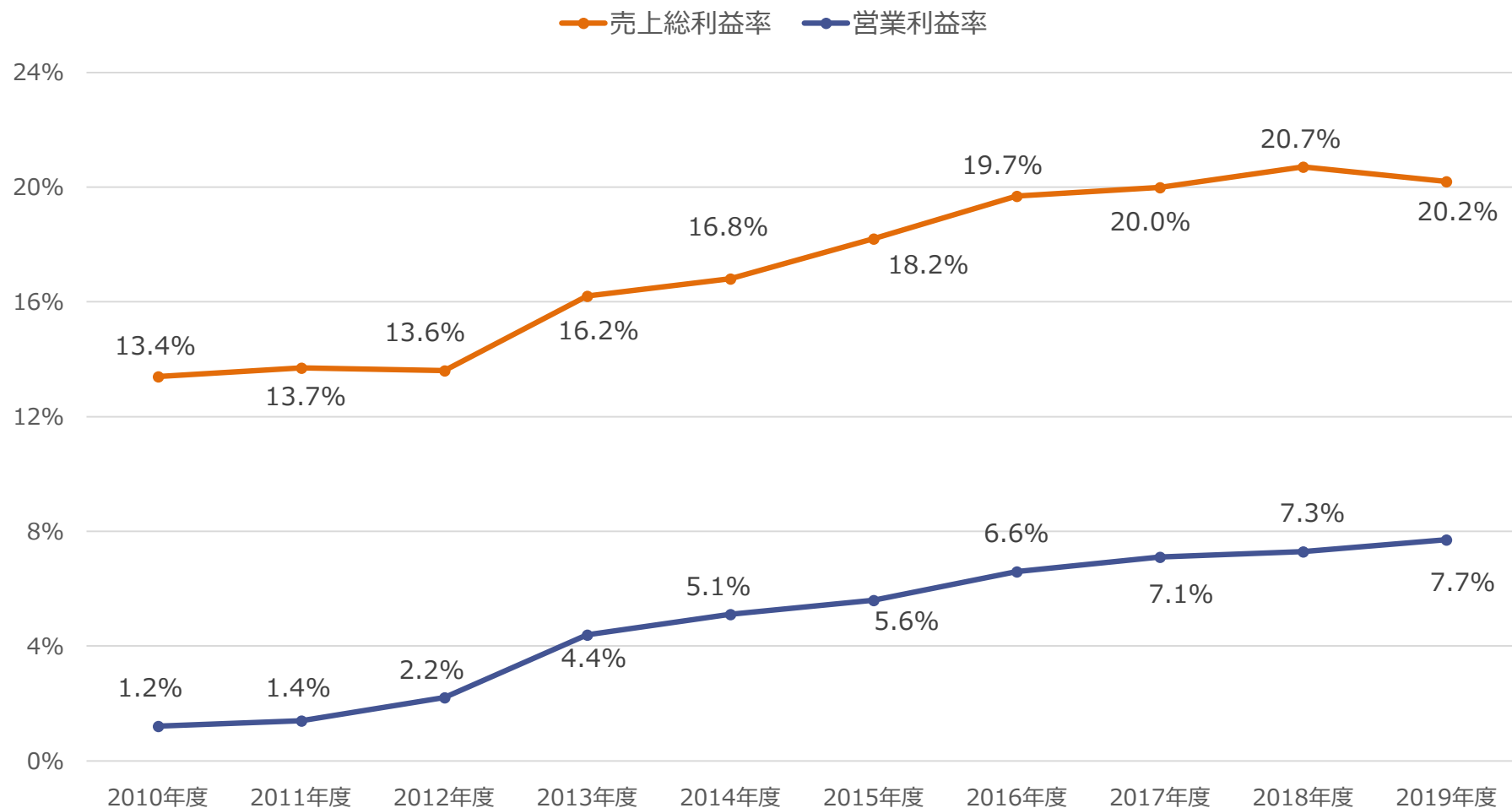
(百万円)

	2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<b>■ 受注高</b>								
専門店市場	9,163	9,866	11,711	9,407	<b>4,401</b>			
百貨店・量販店市場	1,508	1,609	1,105	2,116	<b>324</b>			
複合商業施設市場	3,261	3,989	3,558	4,429	<b>2,347</b>			
広報・販売促進市場	4,689	4,099	8,987	6,180	<b>1,845</b>			
博物館・美術館市場	5,171	1,893	2,285	2,075	<b>3,629</b>			
余暇施設市場	2,311	6,731	5,342	1,170	<b>1,013</b>			
博覧会・イベント市場	8,425	555	253	1,089	<b>1,750</b>			
その他市場	8,449	7,006	9,294	3,519	<b>6,574</b>			
合計	42,981	35,752	42,538	29,988	<b>21,887</b>			
<b>■ 受注残高</b>								
専門店市場	10,125	12,388	12,308	10,309	<b>7,035</b>			
百貨店・量販店市場	1,617	1,791	1,320	1,547	<b>960</b>			
複合商業施設市場	8,563	8,175	7,972	6,885	<b>5,969</b>			
広報・販売促進市場	4,786	5,274	10,003	10,810	<b>9,984</b>			
博物館・美術館市場	9,272	7,077	8,046	8,060	<b>8,368</b>			
余暇施設市場	7,231	10,966	14,687	10,626	<b>7,405</b>			
博覧会・イベント市場	9,680	8,318	8,405	9,138	<b>10,741</b>			
その他市場	21,704	16,173	17,425	13,580	<b>16,482</b>			
合計	72,982	70,165	80,169	70,960	<b>66,947</b>			

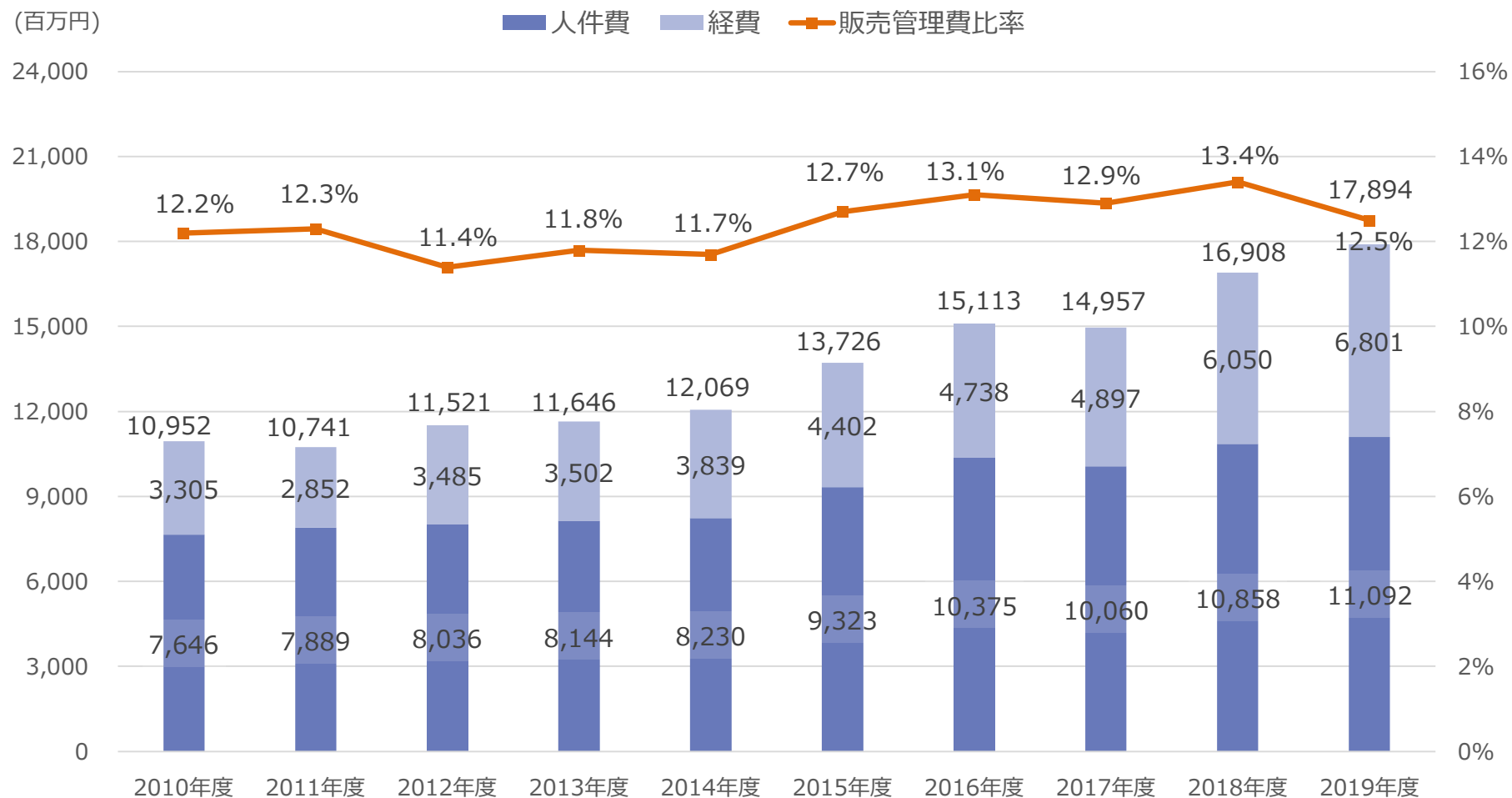
# 【通期推移】 売上高・営業利益



## 【通期推移】 売上総利益率・営業利益率



# 【通期推移】 販売管理費・販売管理費比率



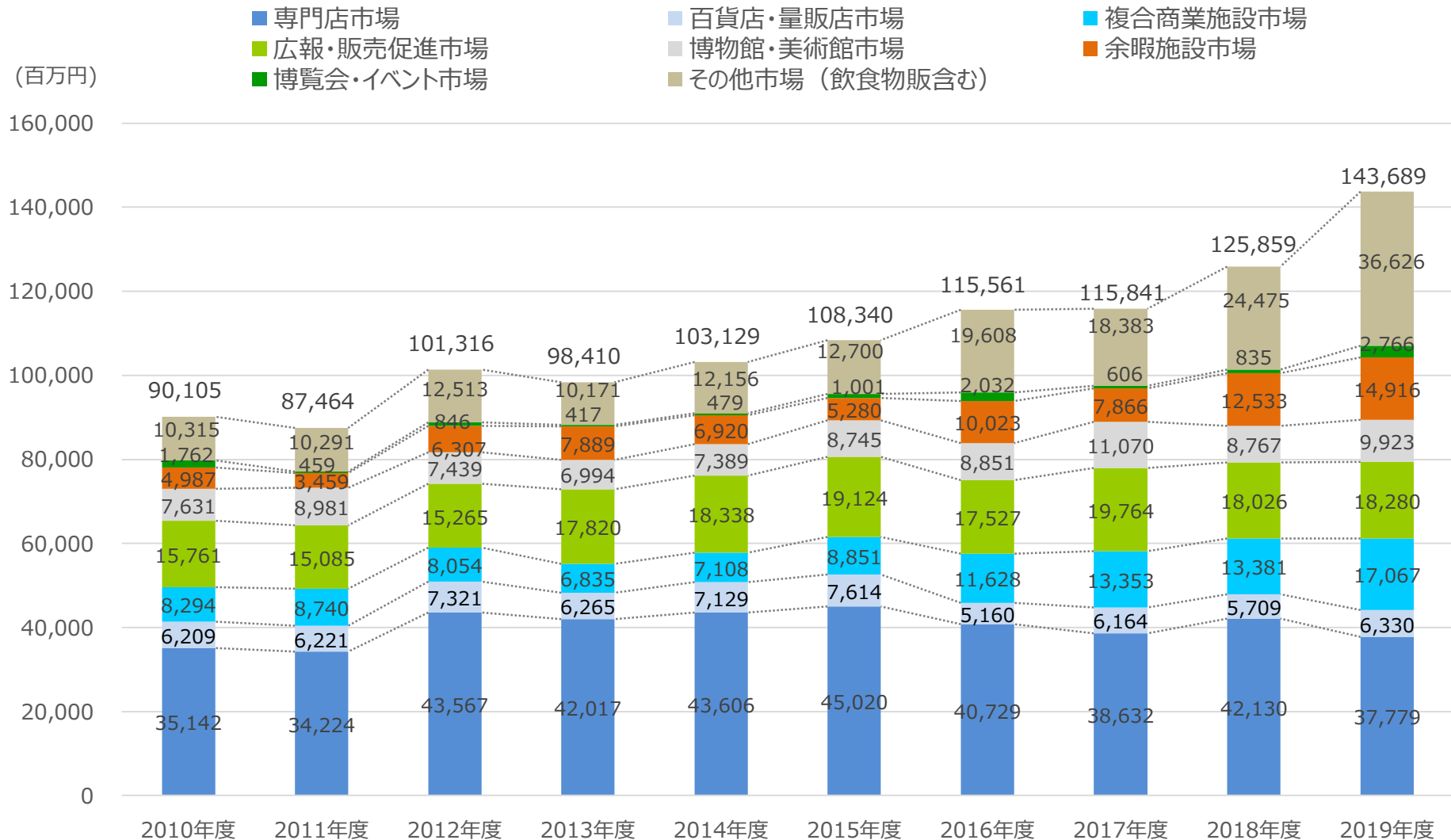


## 【通期推移】 受注高・受注残高



(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。

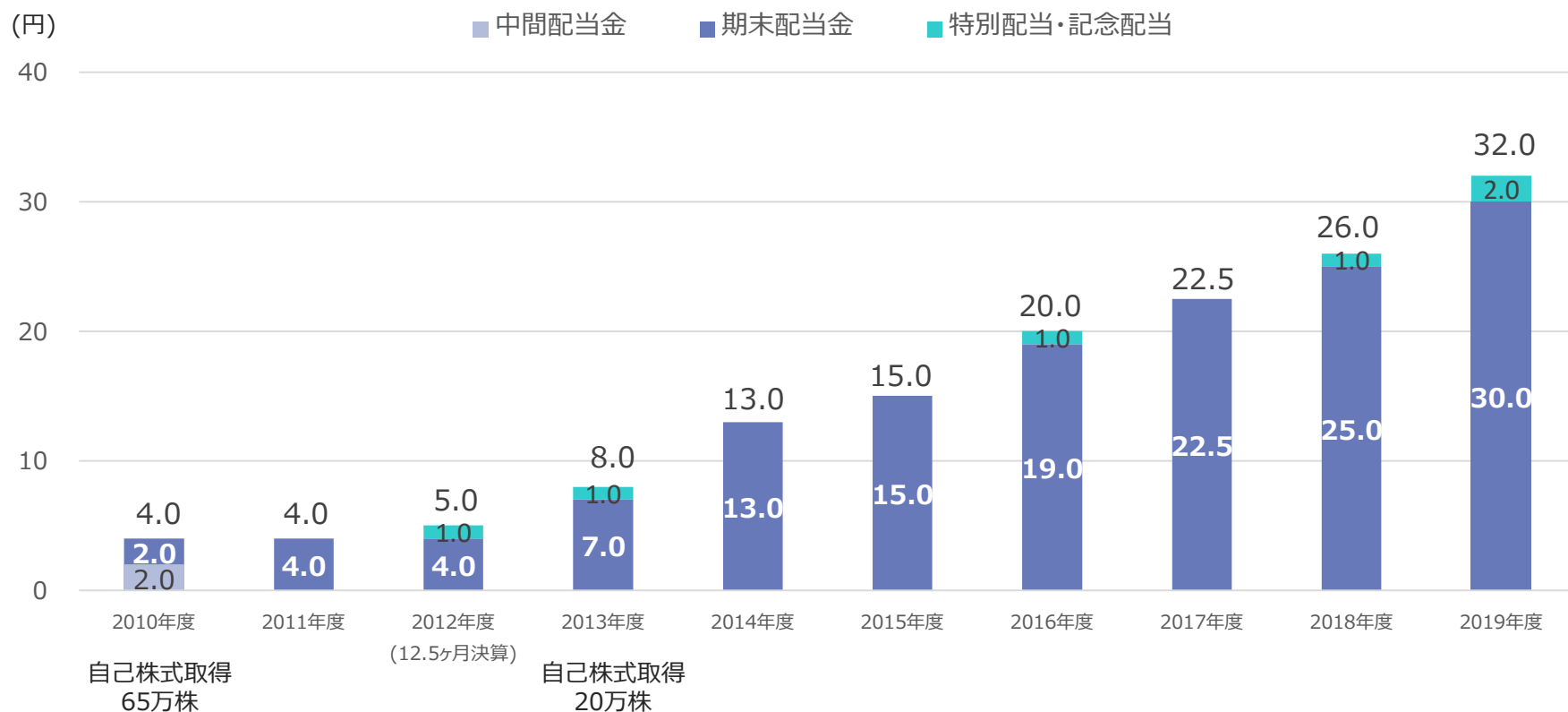
# 【通期推移】 市場分野別 売上高



(注) 飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています。

# 【株式情報】株主還元策と配当金の推移

※2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。下記は2010年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して配当金、株価を算定。



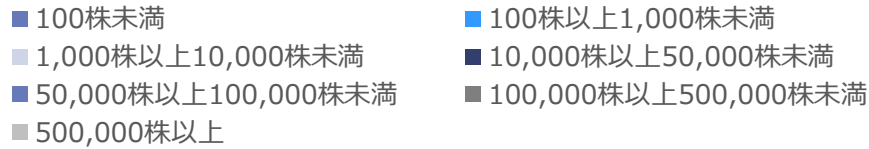
配当性向	111.6%	73.9%	44.9%	48.4%	45.3%	43.4%	44.0%	44.4%	42.9%	45.7%
株価最高値	184.0円	174.0円	221.0円	526.0円	608.0円	966.0円	995.0円	1,324.0円	1,667.5円	1,670.0円
株価最安値	101.0円	100.5円	114.0円	213.0円	332.5円	551.0円	663.5円	901.5円	1,017.5円	961.0円

## 【株式情報】 時価総額と株主数の推移



# 【株式情報】株主構成 (2020年2月29日現在)

## ■ 所有株数別株式の分布状況



## ■ 所有者別株式の分布状況



100株未満	882名	6,813株
100株以上1,000株未満	5,467名	1,519,380株
1,000株以上10,000株未満	2,290名	6,585,211株
10,000株以上50,000株未満	459名	9,915,003株
50,000株以上100,000株未満	84名	5,836,552株
100,000株以上500,000株未満	65名	13,009,433株
500,000株以上	41名	82,934,196株
	<b>9,288名</b>	<b>119,896,588株</b>

外国人	202名	17,659,371株
証券会社	45名	1,286,156株
金融機関	43名	29,657,380株
その他法人	170名	24,497,454株
個人・その他	8,828名	46,796,227株
	<b>9,288名</b>	<b>119,896,588株</b>

(注) 上記の分布状況はいずれも自己株式数を含んでいます。

### 3. 当社グループの概要

われわれは、人間尊重に立脚し  
新しい価値の創造によって  
豊かな人間環境づくりに貢献する

**ノムラのいう人間尊重とは**

ノムラは、生活者である人間の多様な価値観に対応し、快い生活環境を創造する。  
また、ノムラは社員の人間性を基盤にして、働きがいのある自己実現の場をつくりあげる。

**ノムラのいう新しい価値の創造とは**

ノムラは、人と人、人との、人と情報が交流する新たな機能と可能性を追求し、最適な  
集客貢献と空間創造を実現する。

**ノムラが目指す企業像とは**

ノムラのおくりだすものは、人間環境の質的向上をはかる生活文化そのものである。  
ノムラはこの仕事を通じて、環境創造産業のリーダーとなる。

# 会社概要

**創設** 1892年(明治25年) 3月  
**業立** 1942年(昭和17年) 12月  
**上場市場** 東証1部(9716)  
**資本金** 64億97百万円  
**売上高** 1,436億円89百万円(2019年度)  
**従業員数** (2020年2月末日現在)

乃村グループ全従業員2,558名(契約社員含む)  
 連結1,956名(正社員) 単体1,311名(正社員)

**連結子会社** グループ会社10社

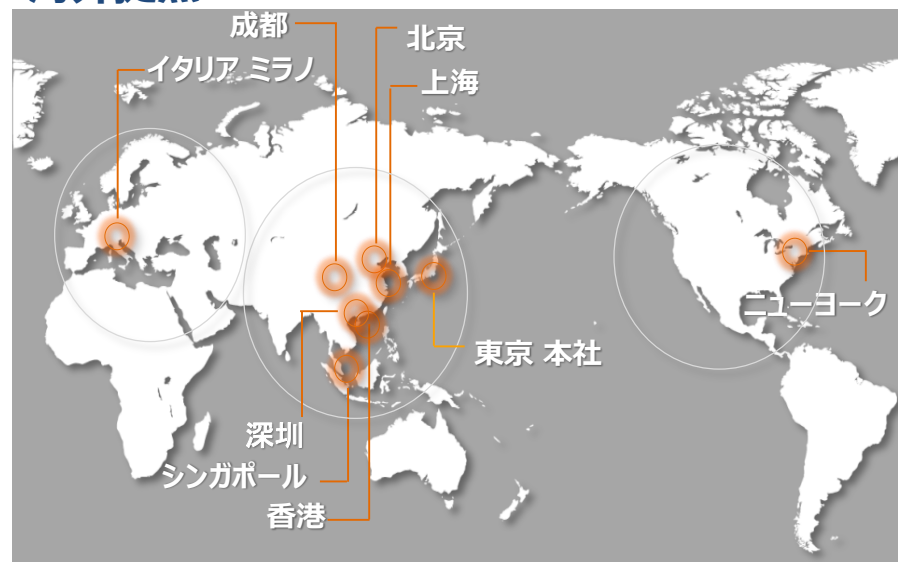
## 事業内容

**ディスプレイ業** (※ 総務省 日本標準産業分類で定める事業)  
 集客環境づくりの調査・コンサルティング、企画・デザイン、  
 設計、制作施工ならびに各種施設・イベントの活性化、  
 運営管理

## 国内拠点

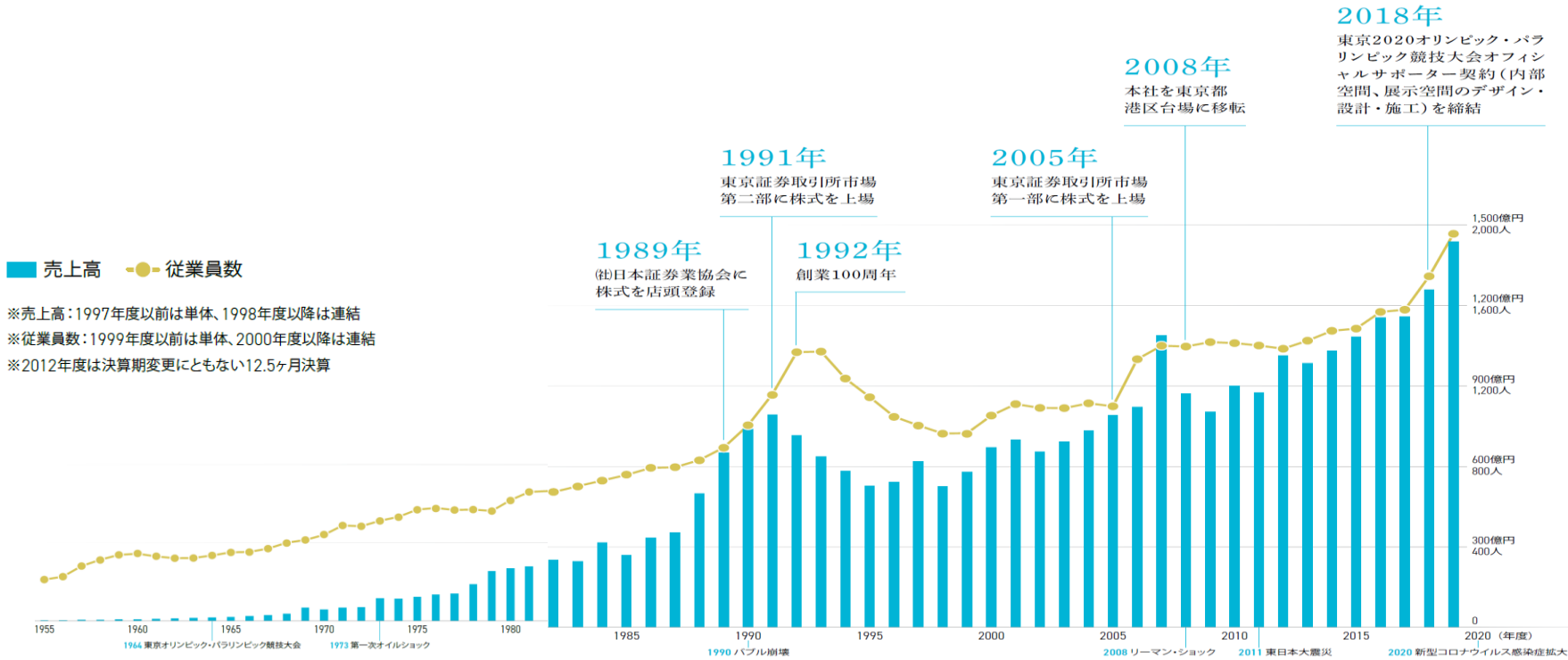


## 海外拠点





# 乃村工藝社の歴史



## 1892年

乃村泰資が高松で創業、芝居小屋の大道具方として活躍



創業者 乃村泰資

## 1892年～1945年

大衆娯楽から博覧会・展示装飾への展開

イベント(菊人形・国技館や靖国神社の催し・博覧会)・百貨店



両国国技館菊人形「十二段返し」1924年頃

## 1945年～1969年

経営近代化の始動とディスプレイ業の確立

百貨店・博覧会・美術展・遊園地



高島屋大飯店の店頭装飾 1947年

## 1970年～1989年

事業拡大と経営基盤の強化

万国博覧会・商業施設・博物館・展示会・企業PR館・ショールーム



日本万国博覧会 1970年

## 1990年～2012年

市場環境の変動を超えて「選ばれるノムラ」へ

ブランドストア・チェーンストア・集客装置・指定管理者と運営事業、まちづくり



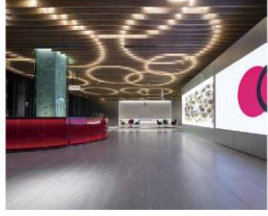
日テレ大時計(空崎駿デザイン) 2006年

## 2013年～現在

Prosperity Partner

お客様の事業繁栄を実現するパートナーとして

複合商業施設・ホテル・テーマパーク・オフィス・地域創生・デジタル分野

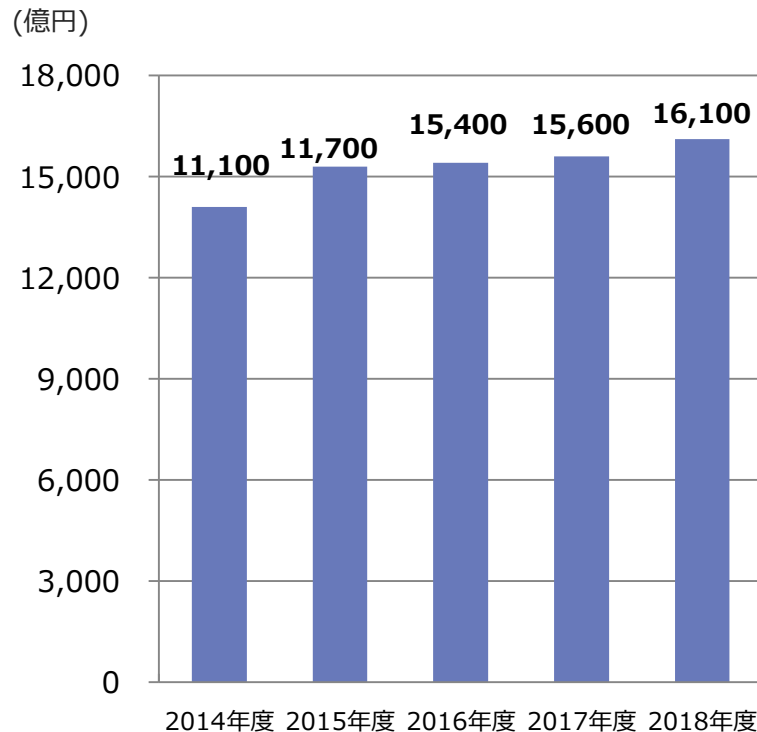


日本オリンピックミュージアム(電通・乃村工藝社・電通ライブ コンソーシアム) 2019年

# ディスプレイ業界を取り巻く市場環境

## ■ディスプレイ業界の市場規模

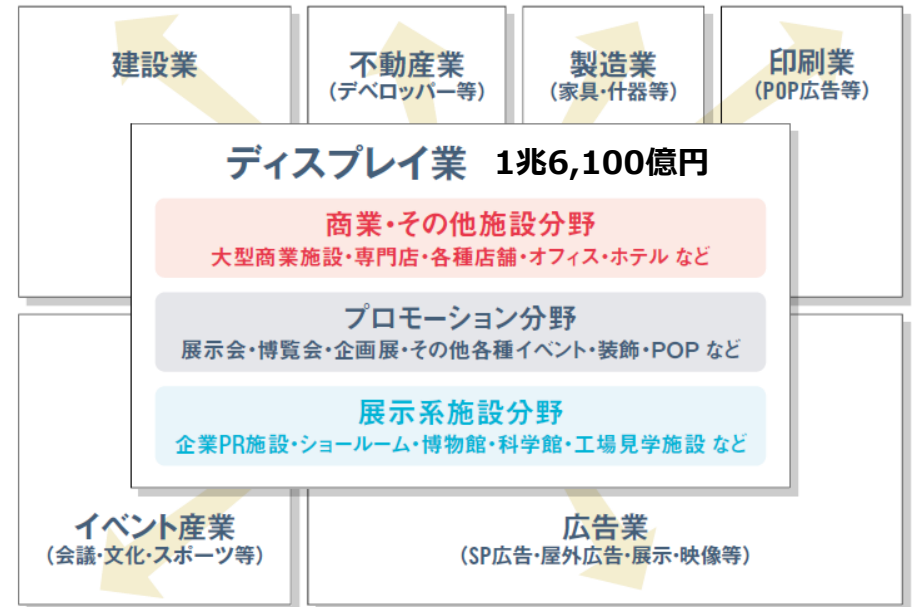
緩やかに拡大し、2018年度は1兆6,100億円。



出典：(株)矢野経済研究所

## ■ディスプレイ業界の市場領域とそれを取り巻く業界

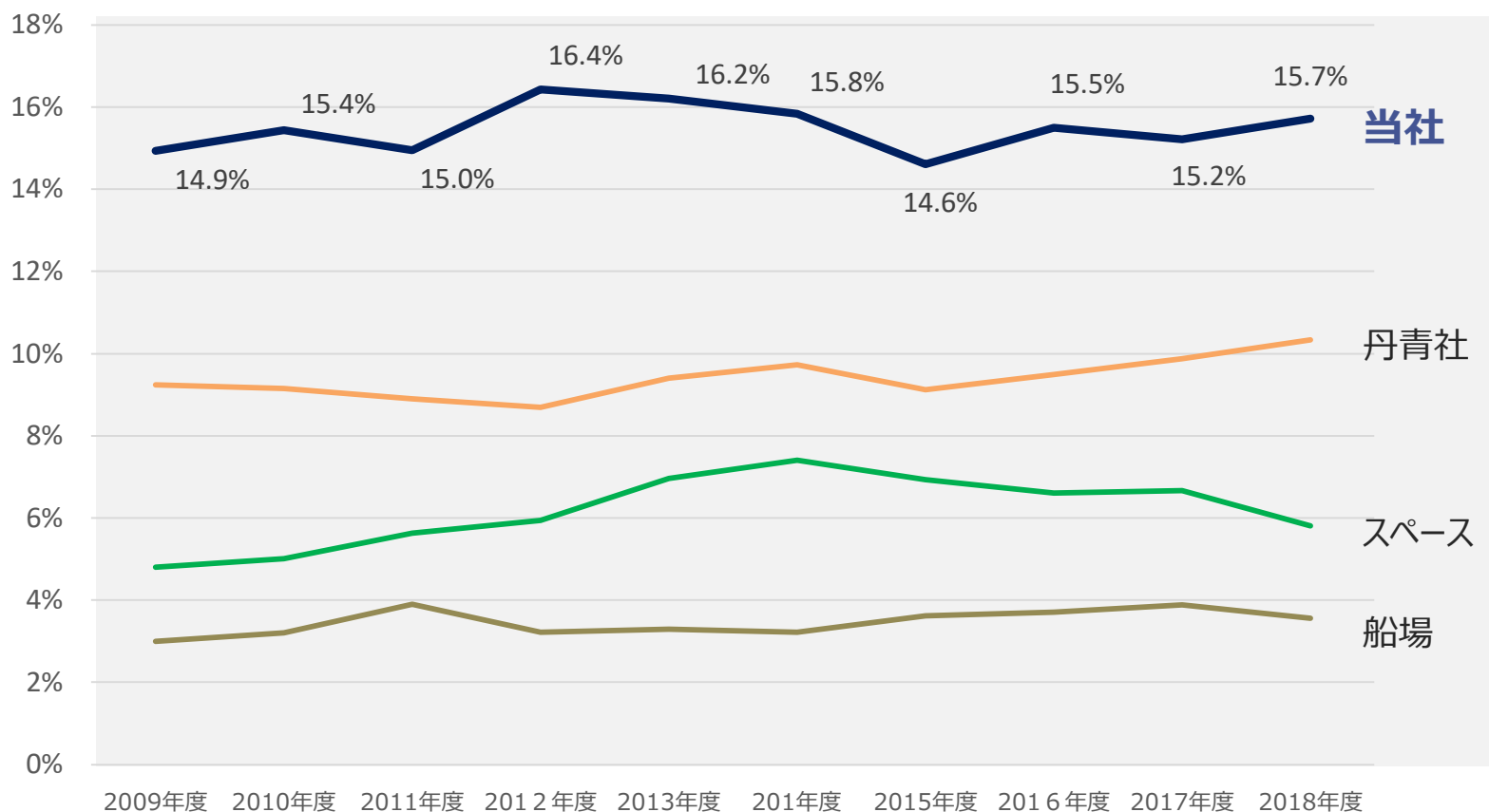
建設業、不動産業や広告業、イベント産業などの業界と密接に関係。



# ディスプレイ業界の市場シェア

## ■ 当社は業界トップシェアを堅持。

【ディスプレイ業界上位30社の売上合計に占める上位5社の占有率推移】



※ 上記は当社集計による数値です



# 乃村工藝社の強み

## 業界No.1を創り出す3つの強み

### ① 総合力

国内外で、大型案件を企画から運営まで手掛けられる体制

- ・国内拠点 **10都市**
- ・海外拠点 **8都市**
- ・グループ会社 **10社**
- ・協力会社体制 **500社以上**

### ② クリエイティブ力

企画・デザインによる差別化

- ・プランナー&デザイナー **610名**
- ・一級建築士 **110名**
- ・デザインアワード受賞数 **49**

### ③ プロダクト力

高品質を実現する制作体制

- ・プロダクトディレクター **550名**
- ・一級建築施工管理技士 **271名**

## お客様からの高い信頼、安定した顧客群

年間のプロジェクト件数  
**14,303件**

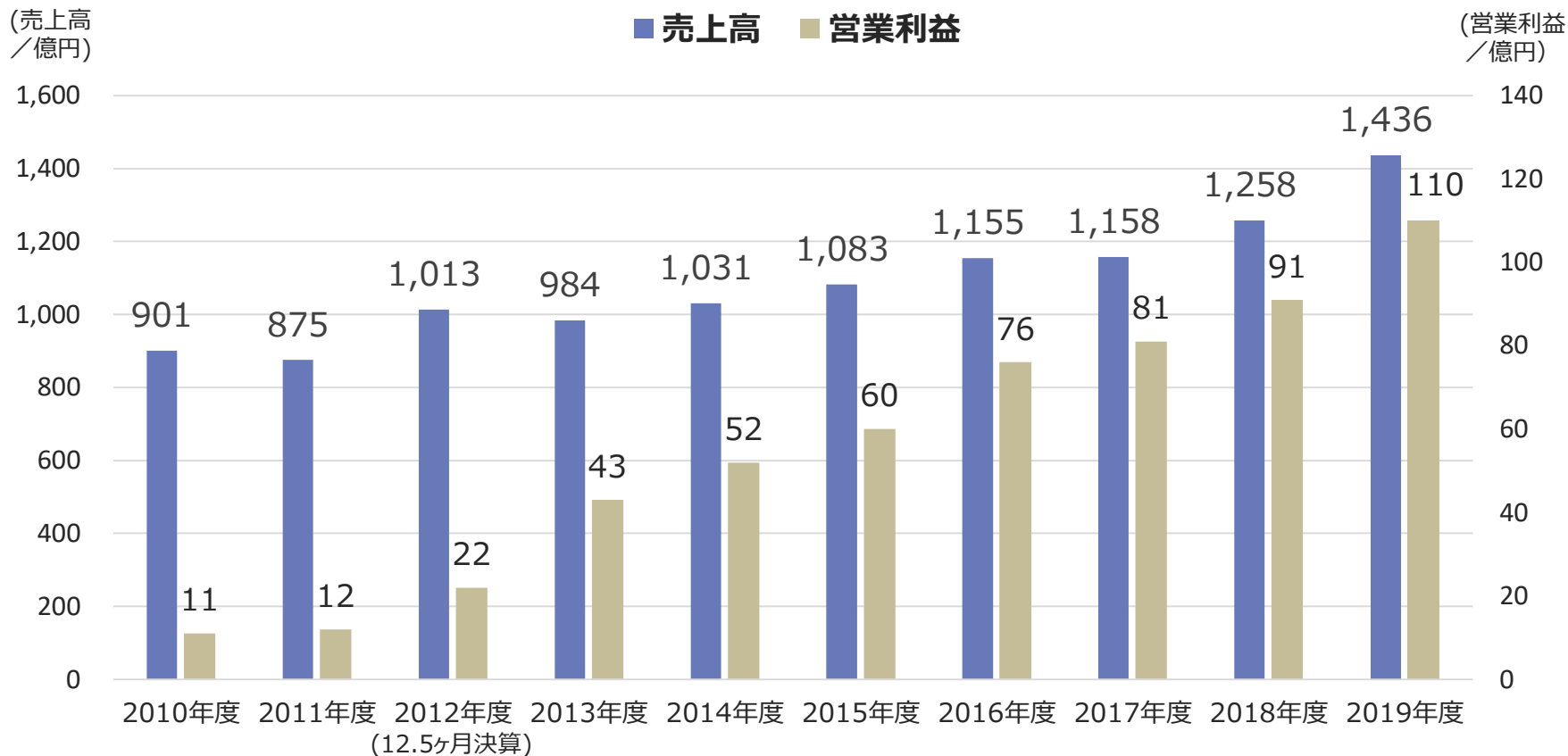
年間の顧客数  
**2,791社**

継続顧客の比率  
**79.5%**

各業界の主要  
企業がお客様

# 通期業績の推移

■ 2019年度まで、売上高6期連続増収、営業利益11期連続増益。



■ 2011年3月  
東日本大震災

■ 2013年9月  
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会決定

■ 2012年5月  
東京スカイツリー開業

■ 2016年 訪日外国人が  
初めて2,000万人を突破

# 株式会社 乃村工藝社

(証券コード：9716)

<https://www.nomurakougei.co.jp/>

IR・株式に関するお問い合わせ  
経営管理部  
([ir@nomura-g.jp](mailto:ir@nomura-g.jp))